



# 学校だより

9月号  
横浜市立桜台小学校  
令和5年8月28日発行



HPはこちらから

## ぼくらの宝物 ～創造性を育む～

校長 小宮 健

39日ぶりに子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。

新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行して初めての夏休みでしたが、地域やご家庭で見守っていただき、ありがとうございました。おかげさまで子供たちは安全に過ごすことができました。

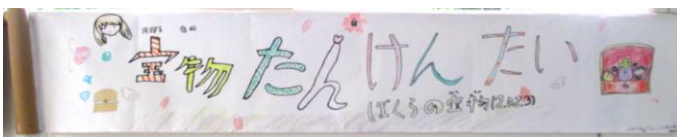
朝から絡みついてくる湿気、日中は身の危険さえ感じるほどの猛烈な暑さ、夕方近くになっても衰えずに差し込む西陽…本当に暑い日が続きました。以前はよく「宿題は午前中の涼しいうちに済ませましょう」と言われていましたが、今の気象状況では通用しなくなってしまいました。改めてSDGsの目標13、「気候変動に具体的な対策を」への意識を高め、「地球の温暖化」に向き合い、深く考え、実践につなげていく必要性を強く感じた夏でした。

さて、5月の連休明けから行動制限がなくなり、マスクの着用も任意となりました。約3年間続いた感染防止対策のための生活様式・習慣により、人との適切な距離の取り方に戸惑い、相手意識がもてずに関わり方に不慣れな子供たちが散見され、児童間のトラブルが目につく時期がありました。

そこで、「子供たちの魅力である素直さ、無邪気な笑顔を取り戻していきたい」「伸び伸びと表現する楽しさや創作することの喜びを体験させたい」「和気あいあいとした温かい雰囲気のある学校にしていきたい」という気持ちが湧き起こり、『ぼくらの宝物』というオリジナル曲を活用した音楽づくりを始めてみました。

まず、全校朝会で『宝物探検隊』を募集します。歌うことが好きな人は校長室に来てください。みんなで音楽の輪を広げていきましょう！」と呼びかけて3年生以上からメンバーを募ったところ、40名を超えるやる気に満ちた子供たちが集まりました。

それから約1か月間、中休みの時間に楽しみながら歌い続け、少しずつ録音を重ねて音源を創り上げました。音楽専科教諭と相談して「今月の歌（7月）」に位置付け、6月下旬の音楽朝会で『宝物探検隊』は全校に向けて堂々と楽曲を披露することができました。



そのあとに実施された5年生三浦宿泊体験学習のキャンプファイヤーでは、火を囲みながらみんなで熱唱して大いに盛り上がりました。

7月に入ってからは各教室から元気な歌声が聞こえてくるようになり、全校に広がって浸透していく様子が見え始めました。廊下を歩いていると、1年生が近寄ってきて「校長先生、『ぼくらの宝物』とても気に入りました！」と、にこにこした表情で伝えてくれて嬉しくなりました。驚いたことに、何人かの6年生が低学年でも覚えて踊れるようにやさしくてかわいらしい振付を考えくれたので、すぐに朝会で全校に紹介しました。これは運動会の全校ダンスに発展しそうな勢いです。

また、皆様が楽しみにしているPTAバンドの「サマーコンサート2023〔9月2日(土)14:00～保土ヶ谷公会堂〕」でも、みんなで歌うことになりました。

ちなみに歌詞の中に「宝」は「友だち」という部分がありますが、「一人ひとりが大切にしているものや大事にしたいことをそこに当てはめて歌ってみたい。自分の宝物を紹介し合うのもよいかも…」というアイデアも出てきています。「宝」は物とは限りません。例えば「優しさ」「思いやり」「仲間」「勇気」そして「思い出」……。

暑い熱い夏を経て実り多き秋になるよう、無限の可能性を秘めた子供たちの自発的・主体的な活動を推進し、創造性を育む教育活動を展開していきたいと思っております。